

調査検証  
コース



## 門脇埼灯台利活用推進プロジェクト

コンソーシアム名：門脇埼灯台観光推進コンソーシアム

対象灯台：門脇埼灯台（静岡県伊東市）

# 調査検証報告

# 門脇埼灯台（静岡県伊東市）

## 門脇埼灯台利活用推進プロジェクト

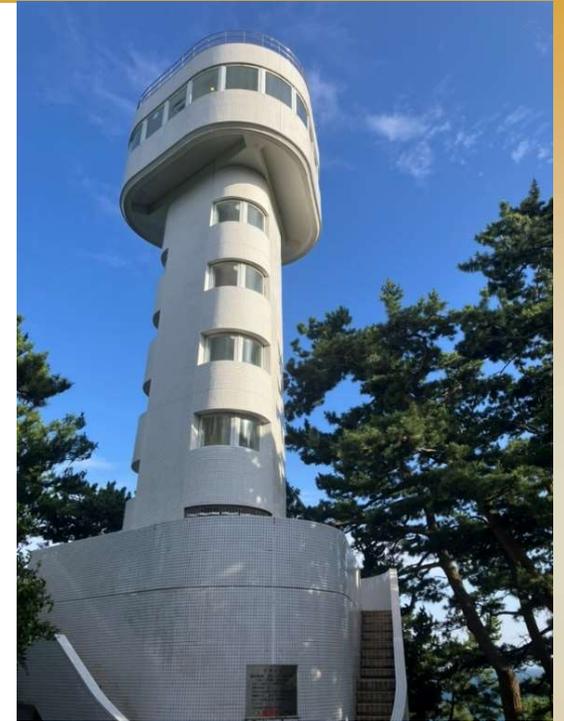
コンソーシアム名 門脇埼灯台観光推進コンソーシアム

構成団体 日本出版販売株式会社、株式会社シード

### 1.調査・検証概要

#### 調査検証を構想した背景

- ・ 2024年2月1日、日本出版販売株式会社と静岡県長泉町にて「本を起点としたまちづくり」に関する包括連携協定を締結。
- ・ 上記包括連携協定には協力企業として静岡県三島市に本社をおく「株式会社シード」、日本出版販売が運営する東京六本木にある書店「文喫」との社会実験が盛り込まれており、静岡県内での官民連携の可能性を拡げるためのリサーチを推進。
- ・ 株式会社シードは、伊東市の観光計画など、静岡県東部エリアの複数の自治体の各種計画策定に携わる中で、地域資源としての灯台の活用を検討。
- ・ 同時期に文喫 六本木にて実施していたイベントで音声MR技術を活用した「ボイスフレンド」が、従来の音声ガイドやGPS/ビーコンを活用した音声ソリューションと比較して、導入面でのメリットがあり、サービス特性が灯台の利活用にマッチするのではと考え、観光誘致や付加価値のサービスモデルの実証を行う。



### 2.調査検証の目標～明らかにしたい仮説

静岡県伊東市にある門脇埼灯台の新たな魅力発掘と観光誘致を目的に、門脇埼灯台を中心とした城ヶ崎海岸エリアへ、日販が企画運営する音声MR技術を活用したソリューション「ボイスフレンド」のサービス開始に向けた地域・自治体等との連携体制構築および次年度計画策定を目指す。

## survey 01

## 門脇崎灯台の基礎調査

基礎データ、設置された経緯、関係者インタビュー

## survey 02

## 門脇崎灯台周辺の調査および自治体/関連団体との連携

## ①現地調査

- ・ 技術的にサービスが実装できるかどうか
- ・ 灯台が立地する周辺環境調査  
(ルート、地形による安全性、遮蔽物、空間スキャン可否、通信環境等)
- ・ 灯台と周辺施設の整備状況調査 (交通手段、周辺施設とのアクセス)

## ②自治体/関連団体との連携

- ・ 県/市町村の動向調査とサポートの可能性
- ・ 伊東市観光課との連携 (次年度に向けた会議体の設定、助成金)

## survey 03

## コンテンツ制作と実証実験

## ①事業規模や実施体制の検討

- ・ 想定される運営オペレーションの構築 (マニュアル作成)

## ②事業化に向けて今後解決すべき課題

- ・ 常設化したコンテンツ制作の検討 (イベント/ガイド等)

## ③事業化に向けたスケジュールの計画

- ・ コンテンツ制作～実装に向けたプランニング

## survey 04

## 実証を踏まえた来年度計画

事業が社会や地域等に与える効果に関する予測

- ・ 観光人口+新規観光人口より収支シミュレーション
- ・ 灯台を中心とした文化的イベントとしてサービスを定着させることで、参加者に深い感動と興奮をもたらすと同時に、灯台の歴史と文化を再評価の機会を与える





かどわきさきとうだい  
**門脇崎灯台**

基礎 データ  	初点灯	1960年(昭和35年)3月1日
	灯台の高さ	24.94m
	灯りの高さ	平均水面上から灯火まで43.72m 地上から灯火まで22.52m
	灯質	単閃白光 毎10秒に1閃光
	光達距離	18.0海里(約33km)
	レンズ	LB-M30型灯器
	構造	鉄筋コンクリート造
	形状	塔形
設計者	(社)静岡県建築士会 伊東支部	

設置された経緯

- ・門脇崎灯台が位置する岬は波が荒く、潮の流れも速い。遭難船が多く出るため、帆船時代から魔の岬として恐れられてきた。  
※明治5年～昭和32年の間の遭難犠牲者は105名と記録されている。
- ・昭和32年2月10日・2月20日に、相次いで船の遭難が発生。富戸の消防団の日吉喜代一氏が、「ここに灯台があったら、こんな悲惨なことは起きなかったかもしれない」と考え、漁業組合や伊東市等と協力し、灯台局（現在の海上保安庁）に掛け合っ、門脇崎灯台を設置することになった。  
※昭和35年3月より遭難船は皆無。

参考資料：日吉喜代一著『磯のかおり』平成12年1月発行  
（日吉喜代：当時伊東市消防団第十三分団(富戸消防団)の分団長）

関係者インタビュー（抜粋）



城ヶ崎観光開発  
株式会社  
代表取締役社長  
**石井 様**

子供の頃から、この地域は遭難者が多く発生していた。誰々が遭難したなどの話を聞いて記憶に残っている。  
灯台自体は割と新しいが、この地域にとってはそういった経緯もあって、出来たと地元の間人は認識している。



下田海上保安部  
交通課  
**石田様/遠藤様**

事故があったから灯台を建てたっていう理由は各地であるものだが、このように経緯まで文献として残っている灯台は全国でも珍しい。

門脇崎灯台のストーリー

# 断崖絶壁に立つ 大自然の緑に囲まれた観光灯台

約4000年前の、大室山の噴火によってできた断崖絶壁が連なり  
海の難所として知られていた門脇崎の地。

門脇崎灯台は1960年に  
付近で頻発していた海難事故を防止するために点灯し  
海の安全を守っています。

1995年には全国で二基目となる展望台付の灯台にリニューアル。  
入場料無料・エアコン完備で  
門脇崎の大パノラマを360度楽しめる観光スポットとしても  
人々に愛されています。

## 設計/コンテンツ



空間スキャン完了

灯台周辺の通信環境確認、灯台展望室の空間スキャン完了。周遊型の企画を行うことでの回遊性を検証。



燈の守り人コラボレーション

燈の守り人プロジェクト×ボイスフレンドでコラボレーションを行い、灯台でしか体験出来ないコンテンツ制作を行う。



イマーシブツアー（ガイド）

1/17より、音声MR技術を活用したイマーシブツアーの実証を開始。お客様満足度については高評価をいただく。

## 事業者/自治体連携



限定グッズの販売

灯台近くにある売店（城ヶ崎ビューテラス）にてボイス付の限定グッズの販売実証を開始。  
※2/25時点 74個販売



伊東市・観光協会との連携

伊東市ならびに観光協会と連携し、灯台と周辺観光地域における協力体制を構築。



伊東駅周辺への告知物連携

伊東駅周辺の観光案内所等でのポスター・チラシ掲示を実施し、本企画の認知度向上に繋げる。

## 課題

## 門脇崎灯台の認知度向上

- ◆ アンケートによると、伊東エリアの訪問理由は「温泉での保養や食事」が上位。「特定の観光地への目的」は18%と少ない数値である。
- ◆ 観光案内所、宿泊施設等でも城ヶ崎海岸エリアについては掲示があるが、灯台自体を告知する掲示物はない。



## 施策

## 移動・宿泊拠点での灯台接点拡大

- ◆ 伊東市への主なアクセス手段は、1位が車、次いで鉄道。訪問後の予定などを細かく組まずに宿泊されている可能性が高いため、移動手段の拠点での告知を強化（サービスエリア・鉄道等）。
- ◆ 宿泊施設や食事処での接点を拡大することが、門脇崎灯台への来訪に繋がる可能性有。

## 課題

## 門脇崎灯台と周辺地域との連携

- ◆ イマーシブツアーを体験したきっかけとして「観光スポットをより深く知りたい」と答えた人が最も多く、潜在的なニーズがあると分かる。
- ◆ 灯台までのアクセスは伊東駅から車で約30~40分。伊東市南部地区へ誘導することで、周辺にあるスポットの魅力も伝え、市内の滞在時間を増やすアプローチが可能。



## 施策

## 灯台周辺×地域と連携した相互送客

- ◆ 灯台を起点とした体験型の周遊施策を行うことで、各地での施設やイベントと告知連携を強め、観光客誘致を実現。
- ◆ 体験の有料イベント化・多言語対応など、インバウンド需要やアクセシビリティへのアプローチを行い、ソリューション自体の価値を高めていく。

## 課題

## 門脇崎灯台の魅力を伝えるコンテンツ

- ◆ 歴史ある城ヶ崎海岸エリアの観光灯台だが、その背景や魅力を伝えるコンテンツがない。
- ◆ ユネスコの世界ジオパークに登録され、ディスプレイや告知物の設置に制約があるが、スマートフォン1台で電波さえあれば屋内外問わず設置、体験をすることが可能。



## 施策

## 灯台や地域の歴史を知るコンテンツ

- ◆ 観光客だけに留まらず、郷土愛が詰まったキャラクターを活用し、教育機関と連携。
- ◆ 地域住民が灯台のことを知るきっかけを作ると同時に、地域の活性化に繋がる参加型プログラムを実施。
- ◆ 小中校の教育的視点で、門脇崎灯台の歴史や役割に関するパンフレットを作成する。

## テレビ

## “灯台キャラクター”が声で観光ガイド 伊東市

01月17日 17時00分



伊東市にある灯台をもとに誕生した新たなキャラクターを活用して、周辺の観光地をキャラクターの声で案内し、観光客を呼び込もうという実証実験が始まりました。

灯台のキャラクター化は民間の会社が灯台を身近に感じてもらうお

うと全国各地で進めている、伊東市では伊豆半島と伊豆大島の間の航路を見守る高さ25メートルの「門脇崎灯台」をもとに、若い男性のような見た目のキャラクターが考案されました。

NHK

門脇崎灯台でアプリをスマートフォンにダウンロードして新感覚のエンターテインメントを体験 静岡・伊東市

1/18(土) 17:59 配信

静岡朝日テレビ



静岡県伊東市の灯台を舞台に音声ガイドで物語を楽しみながら観光する実証実験が始まりました。

静岡朝日テレビ



“イケメンボイス”で灯台案内 擬人化したキャラクター「燈の守り人」が深みのある声で 静岡

テレビ静岡

2025年1月17日 金曜 午後7:24

テレビ静岡

## 新聞

- ・伊豆新聞（1/17）  
スマホで音声ツアー体験 門脇周辺で実験スタート — 伊東 / 伊豆新聞デジタル
- ・静岡新聞（1/21）  
伊東の門脇崎灯台、スマホアプリで観光案内 仮想と現実融合技術「音声MR」活用、実証実験

のべ73媒体（転載記事含む）

# 調査検証をふまえた 今後の展開案



事業名：伊東エリア観光活性化事業



熱源となる人たち  
(核となる主体者)

門脇崎灯台観光推進コンソーシアム

日本出版販売株式会社（ボイスフレンド企画運営）  
株式会社シード（地域連携）



熱源を支える人たち  
(その他の主体者)

伊東市観光課

伊東市における観光施設の維持管理  
企画および宣伝

一般社団法人 伊東観光協会

伊東市の観光資源を活用した誘客事業  
観光情報の発信



協力者

城ヶ崎観光開発株式会社

食事処 ぼら納屋・  
灯台売店（城ヶ崎ビューテラス）経営

株式会社GATARI

ボイスフレンドにて使用するアプリ  
「Auris」の技術提供

株式会社ワールドエッグス

燈の守り人プロジェクト運営

## 事業名：伊東エリア観光活性化事業

新たな灯台利活用モデル事業が定義する「自走化4分類」のうち、本事業は以下を目指します

本事業が 目指す型	分類	自走化の方法	中心となる事業者
✓	I ビジネス型	灯台および付属施設等をホテルなどに利活用する、 または 灯台および周辺地域の魅力をコンテンツとして利活用することで、 <u>ビジネスとしての収益化を達成し、自走する。</u>	民間事業者
	II 非営利 収支均衡型	灯台及び周辺施設等を活用し、 イベント開催や観光ガイド等を組織しながら、主として、 <u>収支均衡となるような小規模の地域活性化事業を行い、 非営利団体として、自走する。</u>	非営利任意団体、 NPO等
✓	III 自治体 補助金型	自治体が主体となり、 新たに地域課題や観光資源の一つとして 灯台及び周辺施設等を位置づけることにより、 <u>自治体の予算やリソースが投入され、自走する。</u>	自治体
	IV お祭り協賛型	灯台に係るイベントを開催することで、 灯台を含むエリアの新たな価値と集客・PR効果を創造し、 <u>地元自治体や地域企業からの協賛金や、出店料、 参加者から入場料などの イベント収益によって、自走する。</u>	イベント事業者、 放送局

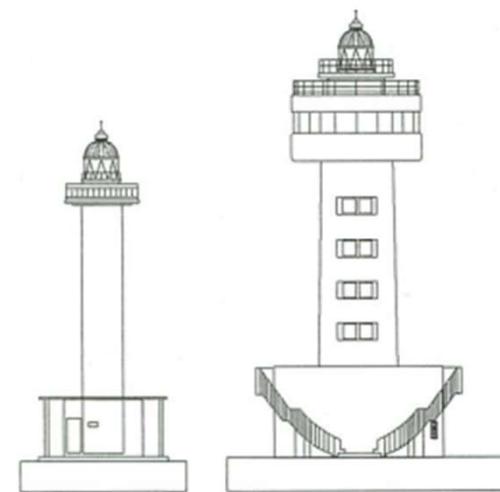
# 調査検証資料

門脇埼灯台が位置する岬は波が荒く、潮の流れも速い。  
 遭難船が多く出るため、帆船時代から魔の岬として恐れられてきた。  
 ※明治5年～昭和32年の間の遭難犠牲者は105名と記録されている。

昔は燈明台が置かれ、  
 近隣にある蓮着寺の僧侶が航海する船の道しるべをしていたそうだが、  
 油を燃やしていたため嵐の日には通用せず、  
 きまって大きな船が座礁した。

昭和32年2月10日・2月20日に、相次いで船の遭難が発生。  
 富戸の消防団の日吉喜代一氏が、  
 「ここに灯台があったら、  
 こんな悲惨なことは起きなかったかもしれない」と考え、  
 漁業組合や伊東市等と協力し、  
 灯台局（現在の海上保安庁）に掛け合って、  
 門脇埼灯台を設置することになった。  
 昭和35年3月より遭難船は皆無。

参考資料：日吉喜代一著『磯のかおり』平成12年1月発行



※門脇埼灯台の概要

旧灯台	新灯台
▽設置日	▽平成七年四月
▽光り方	▼十秒毎
▽光の強さ	▼百カンテラ
▽光の届く距離	▼百カンテラ旧新同じ
▽高さ地上部	▼三十三・三KM
▽地上より灯火	▼二十四・九M
▽水面より灯火	▼二十二・五M
	▼四十三・七M

※灯台設置効果

一、昭和三十五年三月より遭難船皆無  
 二、観光客名所として知られるようになり一日千八百人のもの観光客で賑わった日もありました。  
 三、城ヶ崎に来遊客の半数の方が展望室へ入場。

新灯台には展望台と上下階段を造った為、大きくなっていますが灯台は新旧同じ灯火です。

平成に入り、門脇崎灯台が設置されている城ヶ崎は伊豆半島最大の景勝地となり、交通が至便なことから、年間約250万人程の観光客が訪れる観光地となった。

このため、伊東市では近辺の観光発展事業を整備・促進しようと、門脇崎灯台の付加価値に着目し、海上保安庁へ灯台の一般開放及び展望台の併設を提案。

海上保安庁も以下理由により改修の必要性があると判断。平成7年4月に、展望台・エアコンが付いた灯台にリニューアルされた。

- ・施設の老朽化と、灯台周辺の散策者に対する事故防止
- ・地震発生時の機能維持に向けた耐震構造の導入
- ・建設当時との均衡海域・周辺環境の変化に伴い、灯台の視認範囲ならびに標識効果の増強を図る必要有。
- ・展望施設併設による航路標識業務の周知・啓蒙、地域と密着した航路標識行政の推進効果が期待できる。

参考資料：

海上保安庁提供資料『門脇崎灯台の改修について』



平成7年5月2日 東京新聞

## 海上保安庁・下田海上保安部

門脇崎灯台は展望台付の灯台としては全国で2番目（最初は雑貨崎灯台（和歌山県, 昭和35年））  
無料かつエアコン付きの灯台は、門脇崎灯台のほかに酒田灯台（山形県）の例がある。

門脇崎灯台は関西⇔東京を通過する際の  
目印として使われている。  
関西⇔東京へ行くには伊豆半島と  
伊豆大島の間に行くルートが基本。  
大型船等はGPSの発展で  
使用していない場合もあるが、  
漁船等の小さな船では今も目印となっている。

実際に海上保安部の者が  
海から伊豆半島を見た際、  
熱海などは明るいが西伊豆近辺はかなり  
真っ暗で何も見えない。  
そのため灯台の光は少し安心するとのこと。



海上保安庁提供資料『門脇崎灯台のはたらき』

## 伊東市・金子学芸員（考古学・海運関係・自然災害の研究）

地図の青のラインが江戸時代頃から富田村と八幡野村の境界線で、事故が多かったのがその境界線にまたがるダセンバ（打船場）という場所であった。昔この境界線で起きた事故は村との位置関係で担当が変わるといことがよくあった。富戸消防団はこの村の名残。

伊東市は江戸時代から海の事故が多い場所。江戸城の石垣は、大半が伊豆半島から運ばれた石材で築かれており、伊東市内でも天下普請に動員された大名たちが競って採石作業を行ったため、昼夜を問わず海運が行われ、事故が発生していた。川奈崎には湊明堂(みなとあかしどう)というものがあつたと考えられる。

また、蓮着寺の住職が奥の院という場所がかがり火を上げていた歴史があるそうだが、蓮着寺の宗派の特性上、歴史を相伝する文化がないため、今の住職は歴史的背景が分からないそう。



キャラクターの声と一緒に門脇埼灯台周辺を巡るイマーシブ音声ガイド



伊東市観光課と連携し、伊東市内の観光施設を中心に、ポスター50部とチラシ3,000部を展開。

キャラクターの“声”と一緒に  
門脇崎灯台周辺(城ヶ崎エリア)を巡る  
新しい没入体験

参加無料  
事前予約不要

門脇崎灯台イマーシブツアー  
ボイスフレンド × 燈の守り人

2025年1月17日(金) ~ 終了日未定  
静岡県伊東市

門脇崎灯台(歴史館)・城ヶ崎の塔・門脇島  
城ヶ崎パークの森・沼根駐車場

門脇崎灯台に宿る精霊  
ナビゲーター 門脇崎灯台 (CV: 野津山 幸宏)

門脇崎灯台で最新のMR技術を使った  
イマーシブ音声体験をしよう!

「門脇崎灯台イマーシブツアー」では、門脇崎灯台周辺(城ヶ崎エリア)の観光スポットにて、あなたの行動によって物語が進行するイマーシブ音声ガイドを聴くことができます。

参加方法は、お手持ちのスマートフォンに専用アプリをダウンロードいただき、イヤホンやヘッドホンをつけていただくだけで、伊東の大海原に囲まれた絶景と一緒に、新感覚エンターテインメントをお楽しみください!

対応端末・体験方法など  
くわしくは公式HPへ!

ナビゲーター  
燈の守り人  
CV: 野津山 幸宏

実施場所マップ

オリジナルグッズ

主催: 門脇崎灯台観光推進コンソーシアム  
共催: 日本財団 海と灯台プロジェクト

協力: 燈の守り人製作委員会 株式会社GATARI  
後援: 伊東市

お問い合わせ先: 門脇崎灯台観光推進コンソーシアム(日本出版販売)内 ボイスフレンド事務局  
E-mail: voice-friend@nippan.co.jp



ポスター・チラシ 共通デザイン

門脇崎灯台イマーシブツアーの告知にあたり、参加方法や対応機種、マップ等を掲載したWEBサイトを制作。

門脇崎灯台イマーシブツアー公式サイト



門脇崎灯台イマーシブツアー 企画概要

開始日	2025年1月17日(金) ~ 終了日未定
参加費	無料
事前予約	不要
参加に必要なもの	スマートフォン、イヤホンまたはヘッドホン
実施場所	静岡県伊東市 門脇崎灯台(展望台)・城ヶ崎の碑・門脇吊橋・城ヶ崎ブルースの碑・吊橋駐車場 ※門脇崎灯台(展望台)がスタート地点となります。 他のスポットからは体験にご参加いただけませんのでご注意ください。
体験可能時間	▼門脇崎灯台(展望台) 営業時間 (9:00~17:00・11月~3月は9:00~16:00) に準じます。 ▼その他のスポット 時間制限なし。 ただし、スマートフォンのカメラを使用するため、日没前のご体験を推奨いたします。
所要時間	約40分~ (スポット間の移動時間を含む)

Created in VS

### 体験方法

STEP 01

専用アプリ「Auris」をインストール

※注意事項

- ・対応端末でない場合は体験いただけませんのでご注意ください。
- ・イヤホンやヘッドホンが必須となりますのでご注意ください。
- ・Aurisをインストール済みの場合は、ご体験前に必ず最新版へアップデートをお願いいたします。
- ・スマートフォンのカメラを使用しますので、ご体験中は手や顔でカメラを隠さないようにご注意ください。
- ・また、ご体験にはカメラアプリの起動や写真撮影を行うと、撮影終了、もしくは終了画面へ自動的に移行しますのでご注意ください。
- ・通信環境が不十分な場合、体験のダウンロード、画面の表示や風景のスクリーンショットが正常にできない場合がございますのでご注意ください。
- ・以下の状態のスマートフォンではアプリの動作が不安定になり、ご体験いただけない場合がございますのでご注意ください。

※お問い合わせ先は下記のとおりです。

### オリジナルグッズ販売!

門脇崎灯台イマーシブツアー  
ボイス付き亚克力キーホルダー  
880円(税込)

※専用アプリをダウンロードして体験することで、「門脇崎灯台イマーシブツアー」のオリジナルキャラクター、オリジナル音声を聞くことができます。

ボイスの再生方法

販売店舗

城ヶ崎観光開発 灯台売店 (城ヶ崎ビューテラス)

所在地 : 〒413-0231 静岡県伊東市富戸813  
電話番号 : 0557-51-2056  
営業時間 : 10:00 ~ 16:00  
定休日 : 無休(年中無休)

※営業時間・定休日は変更となる場合がございますので、ご来店前にご確認ください。

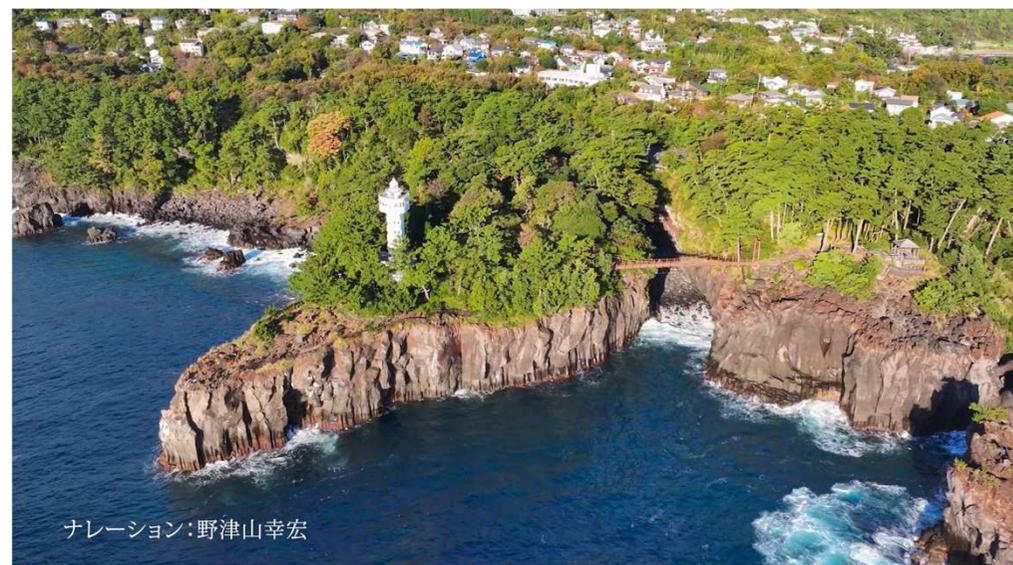
### 門脇崎灯台

伊豆半島中部の東岸に位置する「城ヶ崎海岸」に建つ灯台。初点灯は1960(昭和35)年。現在の灯台は2代目で1995(平成7)年完成。灯台自体の高さは25メートルだが、新築の上に立つため、平均海面から灯台部分までの高さは44メートル。約33キロ沖合まで光が届き、城ヶ崎から伊豆大島間の航路を指示します。レンズが覆われている灯台の下に展望台があるユニークな灯台で、観望中は無料で登ることが可能。リアス式海岸の絶景はもちろん、晴れた日には遠くに伊豆七島や天城連山まで見渡せます。

[動画はこちら](#)

所在地 : 〒413-0231 静岡県伊東市富戸813  
営業時間 (展望台) : 9:00~17:00 ※11月~3月は9:00~16:00  
入場料 : 無料  
アクセス : ▼お車の場合  
東京方面 東名高速厚木ICから約2時間  
愛知方面 長泉沼津ICから約1時間30分  
▼公共交通機関を利用する場合  
バス停城ヶ崎口または伊豆海洋公園下車、徒歩約50分  
伊豆急行線城ヶ崎海岸駅から徒歩約15分

門脇埼灯台の魅力発信のため、ナレーションを燈の守り人・門脇埼灯台役の声優、野津山幸宏さんに依頼し、イメージムービーを制作。[YouTube](#)やXにて公開。



(株)ワールドエッグスと連携し、灯台擬人化プロジェクト『燈の守り人』の新キャラクター“門脇埼灯台”をイマーシブツアーのナビゲーターとして設定。

## ■ 『燈の守り人』について

日本全国の灯台を擬人化したメディアミックスプロジェクト。  
各地の灯台が持つ魅力を丁寧に掘り下げ、  
オリジナルキャラクターおよびストーリーとして昇華している。



## ■ “門脇埼灯台” キャラクタープロフィール



門脇埼灯台に宿り、航海の安全のため光を放ち続ける「燈の守り人」。  
飄々とした雰囲気纏い、独自の世界観を持つアーティスト。  
いたずら好きなどんどうろ人形・アンジーと共に、門脇埼を見守っている。

守護域：静岡県伊東市 誕生日：1960年3月1日 身長：177cm  
好物：うずわめし レンズアイテム：だんどうろ人形



伊東市の民芸品「だんどうろ人形」や周辺の観光地が持つ昭和レトロな雰囲気、  
緑に囲まれた外観等を、  
燈の守り人プロジェクト様にキャラクターデザインへ取り入れていただき、  
「だんどうろ人形」の名前は伊東市に縁のある三浦按針にちなんで「アンジー」、  
好物は伊東の名物「うずわ飯」と、郷土愛溢れるキャラクターが誕生。

**CV：野津山幸宏さん**

主な出演作

ヒプノシスマイク（有栖川 帝統）・東京リベンジャーズ（林 良平）等

灯台前の土産物店、城ヶ崎観光開発 灯台売店（城ヶ崎ビューテラス）にて  
スマートフォンのアプリで表面を読み込むと『門脇崎灯台イマーシブツアー』の後日談が聴ける  
オリジナルグッズを限定販売

※2/25現在、74個販売



ボイス付き

アクリルキーホルダー 880(税込)円

ボイス付きグッズ 音声の再生方法

- 1 

App Store もしくは Google Play で「auris」と検索、または、上記 QR コードを読み込み、無料アプリをダウンロード
- 2 

ダウンロード後、アイコンをタップして「auris」を起動。画面に従いログインを実行（アカウント登録またはゲストログインが必要です）
- 3 

ホーム画面下部中央のカメラマークをタップ
- 4 

カメラモードの選択で「画像マーカ」をタップ
- 5 

カメラをかざし、イラストの横幅を枠に合わせてスキャン
- 6 

録り下ろしの音声の再生画面が表示されます。

※上図は実際の画面と異なる場合がございます。



**販売店舗**  
城ヶ崎観光開発 灯台売店（城ヶ崎ビューテラス）

所在地：〒413-0231 静岡県伊東市富戸842  
電話番号：0557-51-2056  
営業時間：10:00 - 16:00  
定休日：毎週木曜日

CVRは高水準＝コア層への認知には繋がっているが、  
ライトユーザーに向けた認知拡大によって利用数を伸ばせる余地がある。

参考



参加人数

**88名**

(～2/25累計)



WebサイトPV数

**884PV**

CVR 10.4%  
(～2/25累計)

ボイスフレンド

ボイスフレンド  
SNS投稿(X)PV数

**14万PV**

(～2/25累計)



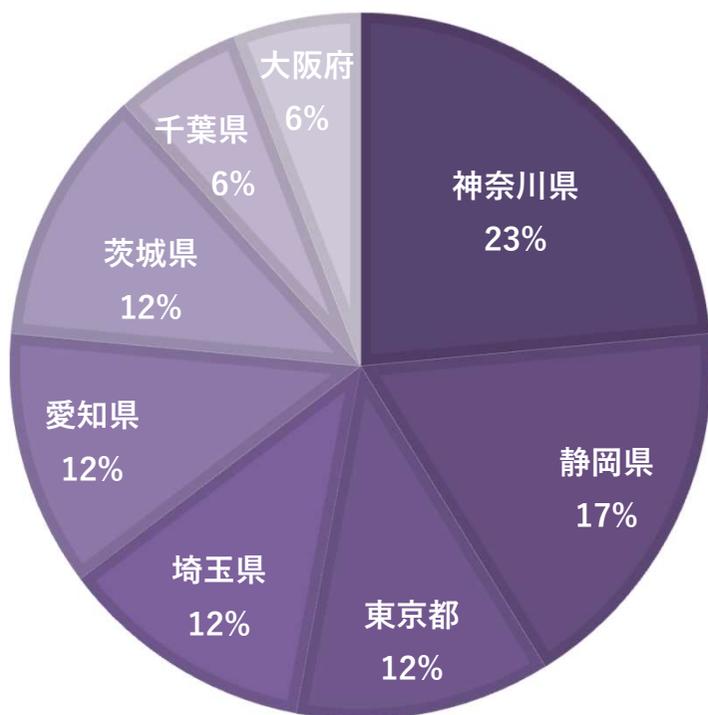
オリジナルグッズ  
ボイス付き  
アクリルキーホルダー

**74個**

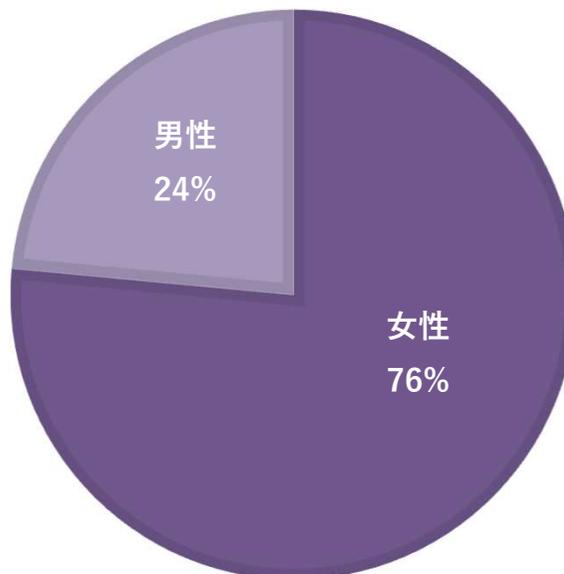
本体価格 800円  
計 59,200円  
(～2/25累計)

アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

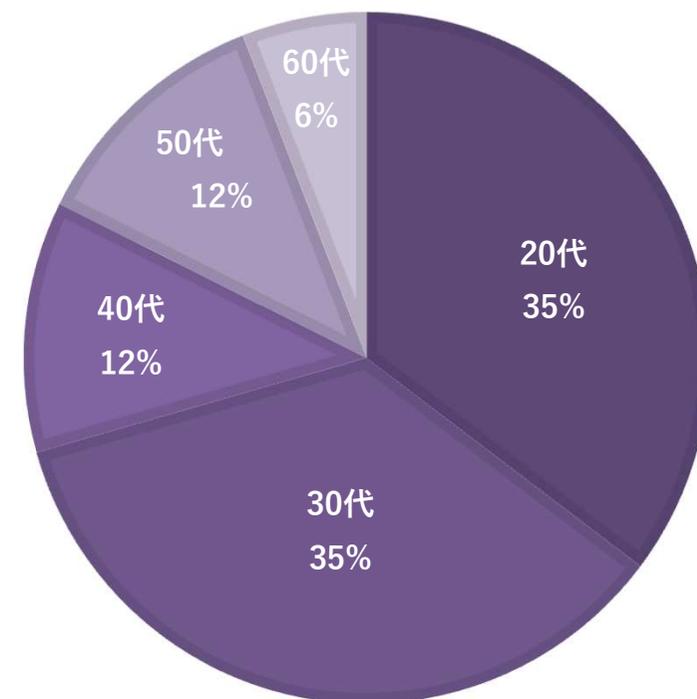
### Q.お住まいの都道府県



### Q.性別

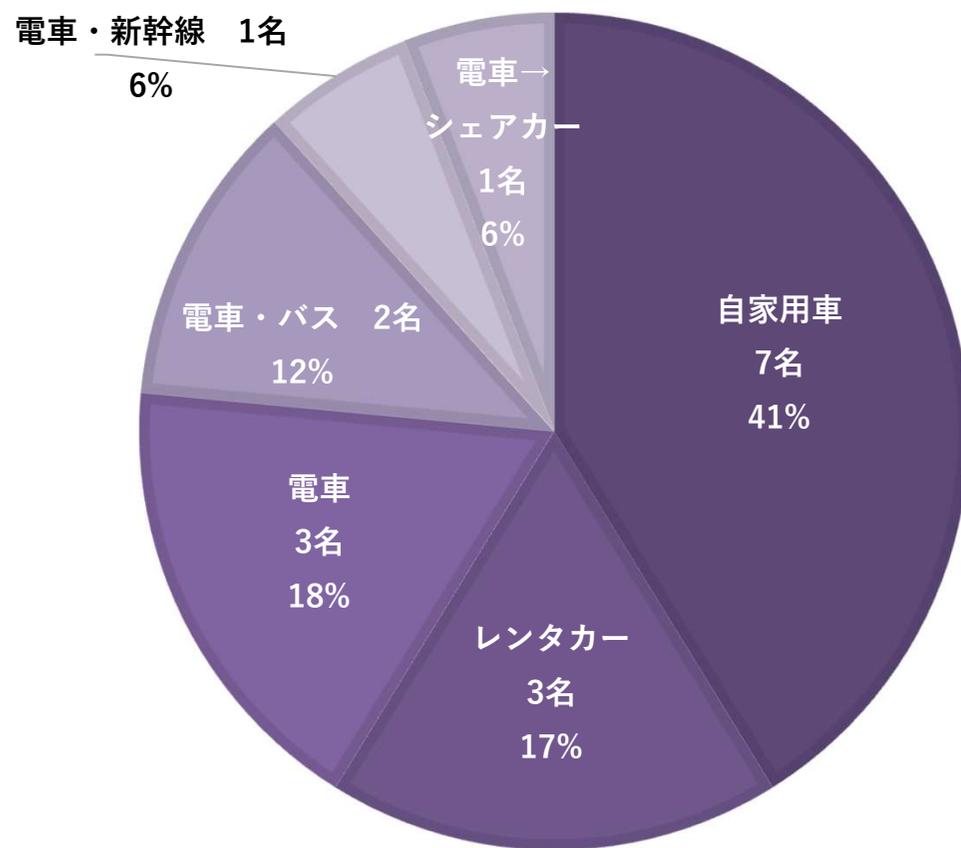


### Q.年齢

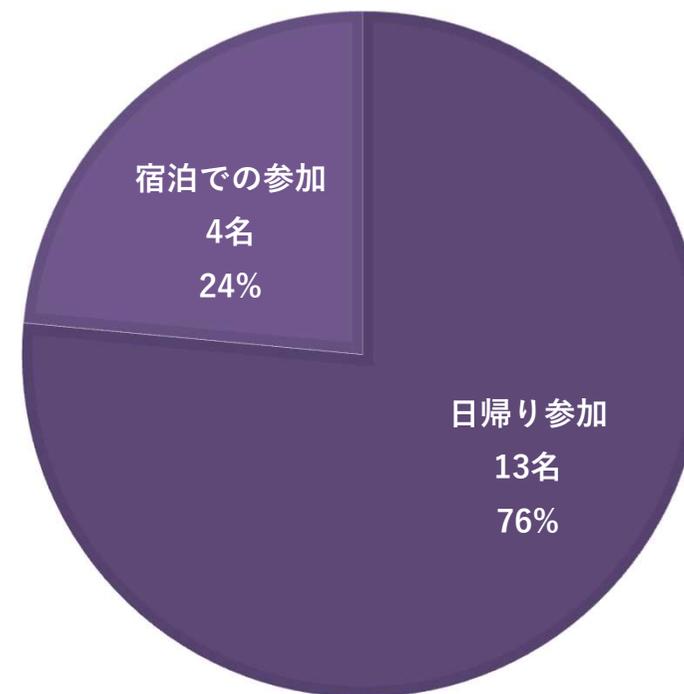


アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

Q.利用した交通機関（複数回答可）

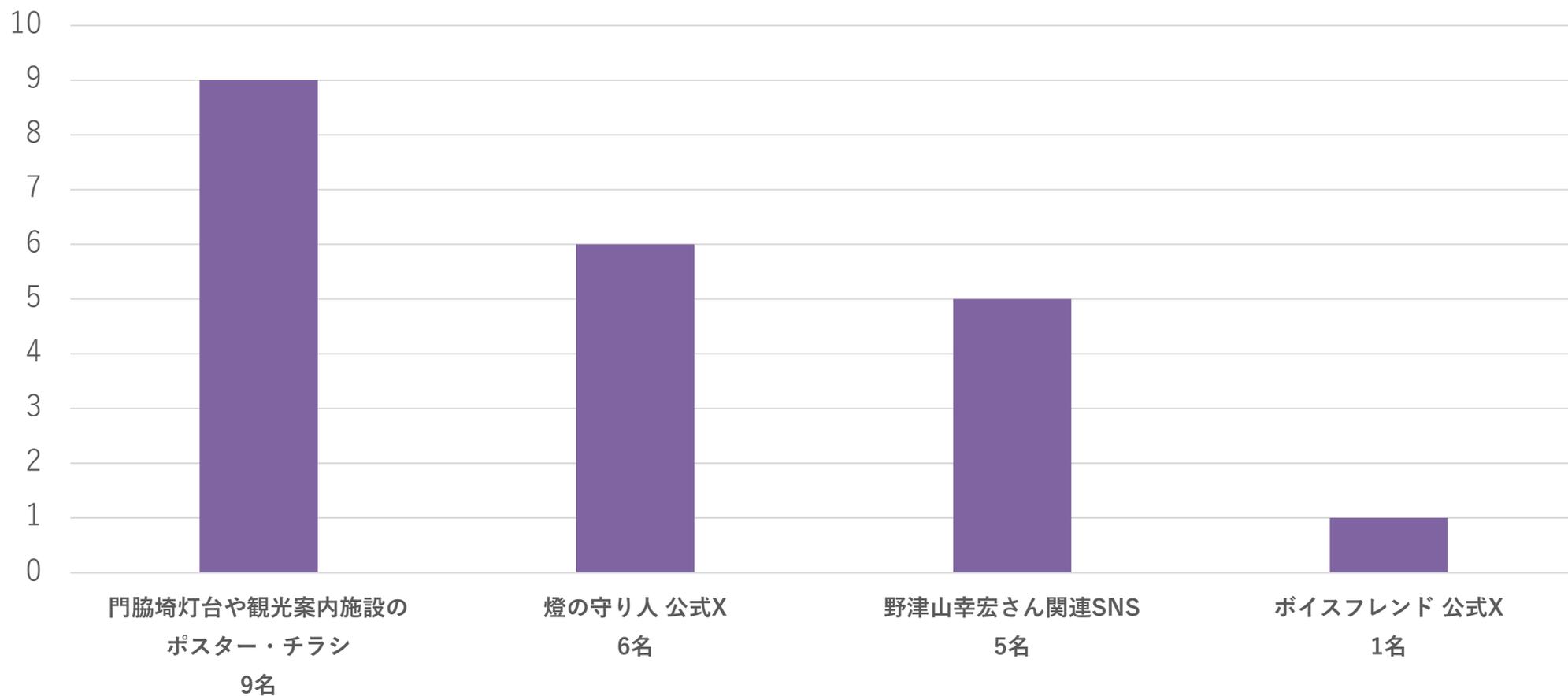


Q.参加形態



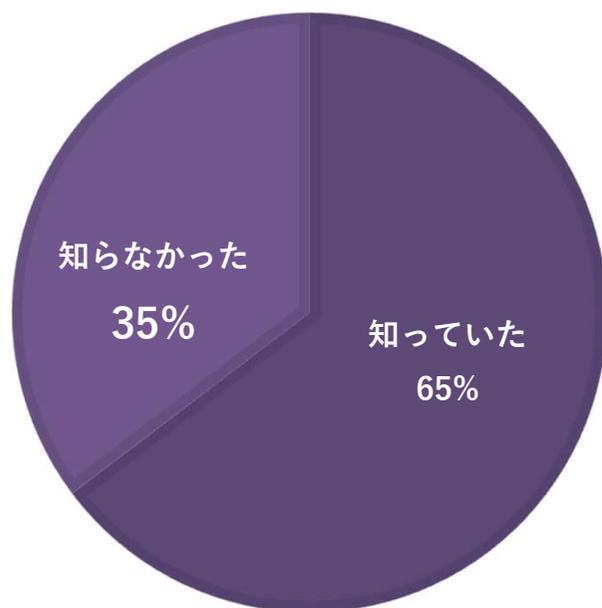
アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

## Q.イマーシブツアーをどこで知りましたか？

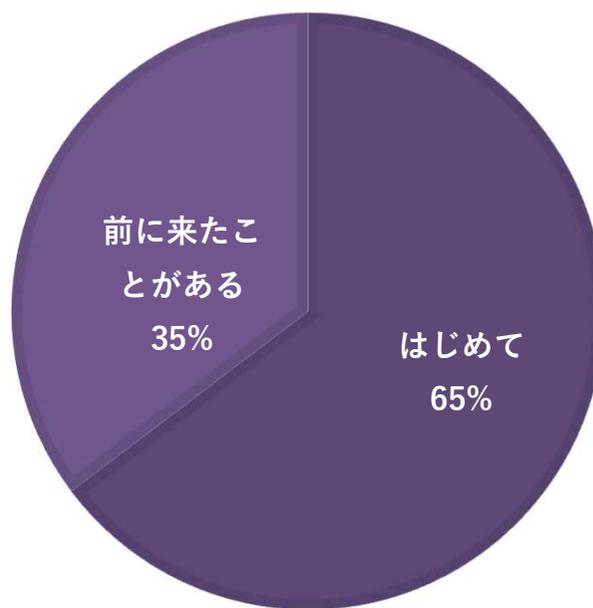


アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

Q.門脇埼灯台を  
知っていましたか？



Q.門脇埼灯台に来たのは  
はじめてですか？

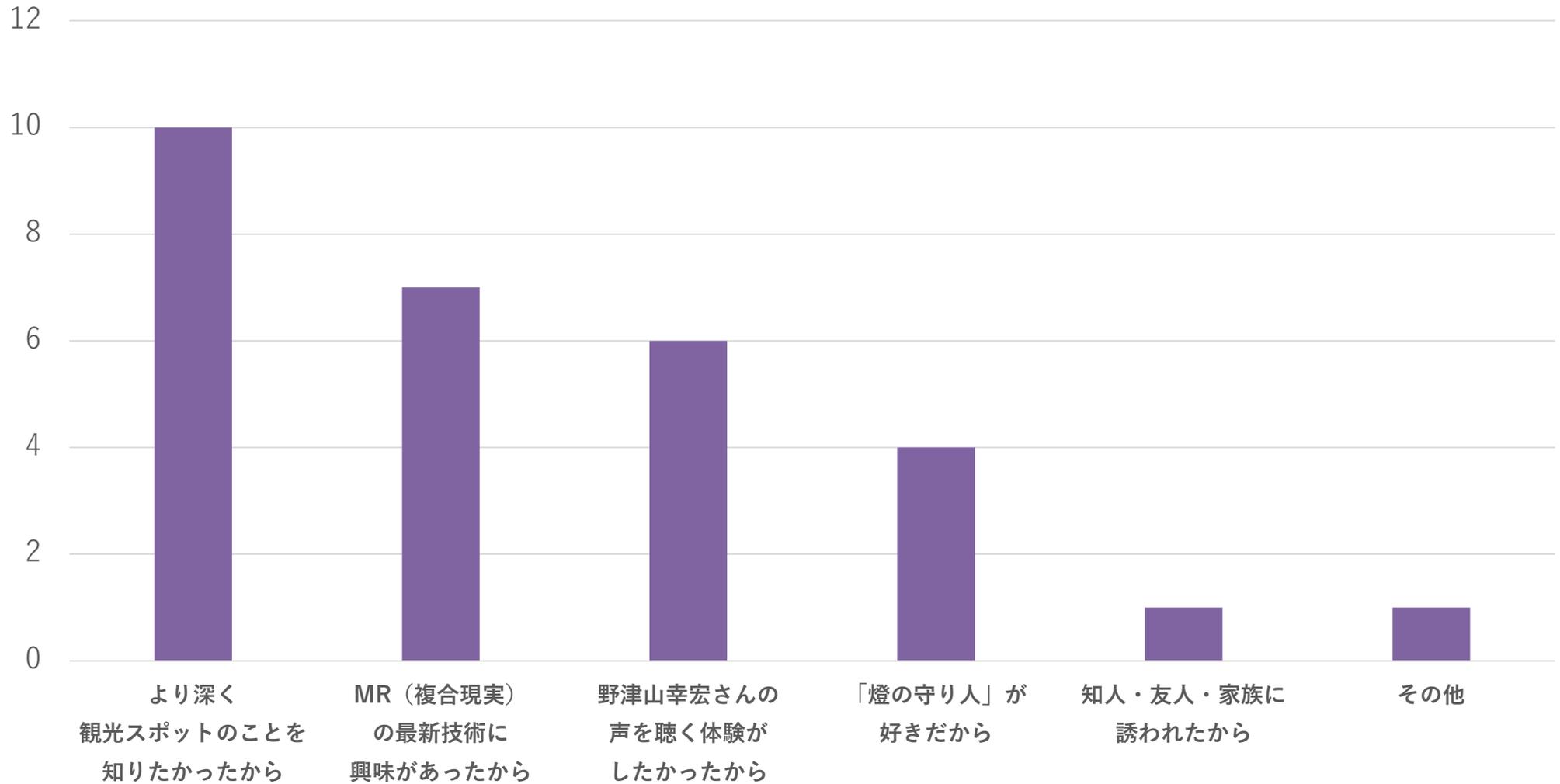


Q.体験を通じて門脇埼灯台への  
理解は深まりましたか？



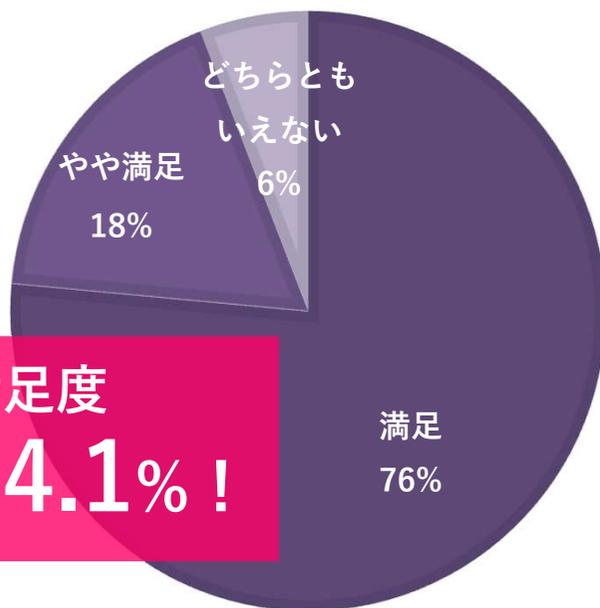
アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

Q.ご体験のきっかけを教えてください

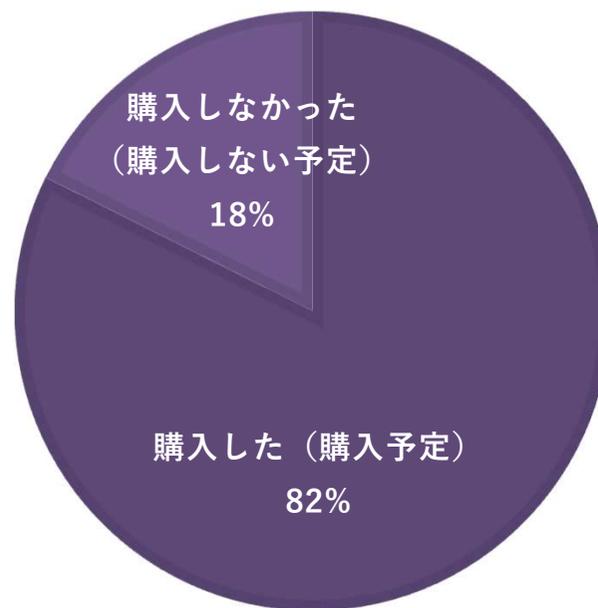


アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

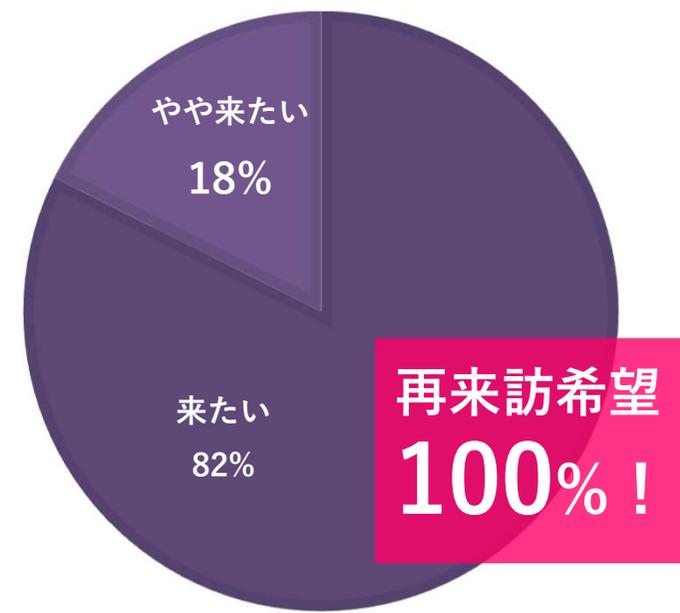
Q.当企画の満足度を教えてください



Q.オリジナルグッズの  
アクリルキーホルダーは  
購入しましたか？



Q.また門脇埼灯台に  
来たいと思いますか？



アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

Q.体験内で分かりづらかった点がありましたら教えてください（抜粋）：

ARカメラのスタート地点が分かりづらかったです。

アプリの使い方が難易度高めだと思います。

画面に、今何をすべきなのか文字で出したほうがいいと思います。

写真を合わせる場所が分かりづらい。

1つ飛ばしでは使えなく、戻らなくてはいけなかったところ。

見たいところのみが使えない。

アンケート回答者：イマーシブツアー体験者のうち17名（実施期間：2025年1月17日～2月9日）

自由記述（抜粋）：

地域にまつわる逸話を詳しく教えてくれたり、  
観光スポットの見所がわかってより楽しめました。

静岡県在住で10年程前に門脇埼灯台を訪れたことがありましたが、  
今回のイマーシブツアーをきっかけにこれから何度も訪れたいとなりました。  
音声ガイドによる灯台体験はありそうでなかった新たな試みでおもしろいです。  
想像以上に没入感があったので終始とても楽しめました。

すごく良かった他の灯台でもぜひとりいれてほしい。

1人での参加でしたが、大好きな野津山くんの声を聞きながら、  
ツアーを回っているような感覚で、クイズも本気で考えてしまったりと、  
まったく寂しさを感じず体験できたのが嬉しかったです！本当に素敵な体験でした！  
あと3回は来たいので長く続けてくださると嬉しいです！